



自分らしさ・自分の良さは? と聞かれたら



今年も早いものでもう師走となり、2学期が終了して、明日からは冬休みに入ります。

2学期の始業式で、努力する才能は誰もが持っている、だから努力する才能を磨いてほしい。人と比べて優劣をつけるのではなく、自分の中で努力できるもの、頑張ることが楽しく思えること、あるいは苦しくても続けられるものが必ずあります。そして「自分らしさ」や「自分のよさ」を見つけてほしいと生徒たちに話しました。

終業式では生徒たちに問いかけました。「自分の良さ」は何ですか? すぐに答えられますか?

この質問は高校入試の面接では多く質問されています。でも、すぐに答える生徒が少ないと高校の先生から聞きました。「自分の良さ」を答えるには「自分らしさ」を理解していることが重要です。

私たち日本人は他の人たちと同じになろうとする性質があります。というより、他の人たちと同じになる事で安心を得ようとしてしまいます。これは特に日本人に強く表れる、集団帰属欲という欲求が関係しています。ですから、まず自分らしさを素直に表現するには、自分にも他人にも心を開くしか方法はありません。というのも必要ないプライドが自分の行動を邪魔しているうちは、本当の自分や良い部分が他人には伝わらないからです。先日の松村元樹さんの講演会でも「ありのままの自分」いることが大切です。着ぐるみ脱いで仲間の中で自分らしさを出すことで人生が変わったと話してもらいました。

これからの生徒たちの時代は、就職や進路では学歴や家柄とらわれず、その人個人のひととしての社会的価値が重視されます。つまり、自分のために夢を持っている人ではなく、人のためや社会のために行動できる志を持っていることが大きな価値になるでしょう。また、プライベートではネットやSNSでも自分の気持ちや情報をいつでもどこでも発信でき、簡単に全国や世界の人達と繋がる事が出来ます。それは、進路や夢、生き方など、周囲に左右されず個人が意思を持って考えを主張し、行動しやすい時代になってきているとも言えるでしょう。だからこそ「自分らしさ」や「自分の良さ」を知り、さらにそれを支える「人を大切にする」心を持たなければならないと思います。

人と接することで、人との日常生活の中で活かせる自分らしさは磨かれます。ご家庭でも生徒たちに地域や社会に目を向けさせ、学校ではできない体験をどんどん経験させてください。そして自分らしさをお子様に自覚させ、生徒が自分に自信を持つことがとても大切なことと考えます。



柔道部男・女ともに団体優勝

12月10日(土)に行われました三重県柔道新人戦大会で、男女団体とも見事『優勝』しました! 来年の夏の大会のシードを獲得しました。全国大会目指して頑張ってください。



ソフトテニス部も優勝、3位に

12月10日(土)に行われました三重県ジュニアソフトテニスシングルス選手権大会三河地区予選で 優勝 貞任 俊輝さん 第3位 梨子田 健伸さん 上位に2名も入賞しました。

インターネット等を通じて巻き込まれた犯罪が増えています

情報通信技術の発達に伴い、子供たちを取り巻くインターネット環境も大きく変化を遂げています。特に、スマートフォンが急速に普及し、青少年による SNS やコミュニケーションアプリをはじめとしたソーシャルメディアの利用が拡大する一方、そうしたサービスをきっかけとした福祉犯被害も発生しており、子供たちのための対策が急務とされています。

ネット利用を自転車に例えると

<自転車を一人で乗るまでには>

- ①保護者が見守りながら補助輪付自転車で練習。
- ②交通ルール・マナーを教わる。
- ③交通ルールを守りながら、補助輪付自転車で公道を1人で走る。(一人で乗れるよう、経験を積む。)
- ④保護者の見守り中、補助輪を取って乗る練習。
- ⑤補助輪を取って、一人で乗る。

それでも交通事故に遭うことはある。
大人も遭う。



<インターネットを一人で使うまでには>

- ①保護者が見守りながら、フィルタリング付の端末でネットの使い方を練習。
- ②ネット利用のルール・マナーを教わる。
- ③家庭でのルールを守りながら、フィルタリング付の端末を1人で利用。(一人で使えるよう、経験を積む。)
- ④保護者と話し合い、フィルタリングのカスタマイズ等をしてネット利用。
- ⑤年齢に応じたフィルタリングを使用しつつ1人でネットを利用。

それでもトラブルに遭うことはある。
大人も遭う。

インターネットの利用を自転車の利用にたとえてみると、フィルタリングは補助輪やヘルメットのように、1人で使えるようになるまで技術的に支える補助輪のような役割を果たすものです。そして、インターネット利用におけるリテラシー・マナーは、自転車を運転する際の交通ルール・マナーの知識・遵守や運転能力と同様、スマートフォン等の情報機器を安心・安全に賢く使用するためには欠かせないものです。ところがフィルタリングサービスに対する誤解があります。「LINEの機能の一部が使えない」「LINEが使えない」といったLINEに関連する理由でフィルタリングが解約される場合があります。

フィルタリングサービスの利用の有無に関わらず、LINEはアプリケーションとしてダウンロードして使用できますので、フィルタリングサービス不要を業者に申し出たり、解除しないようお願いします。

※「LINE」とは、スマートフォンなどの携帯電話、パソコンなどの端末で利用できるアプリケーションで、利用者が相互に本アプリケーションをインストールしておけば、通信キャリアや端末を問わずに複数人のグループ通話を含む音声通話やチャットが可能なものです。

地域別フィルタリングサービス利用率

